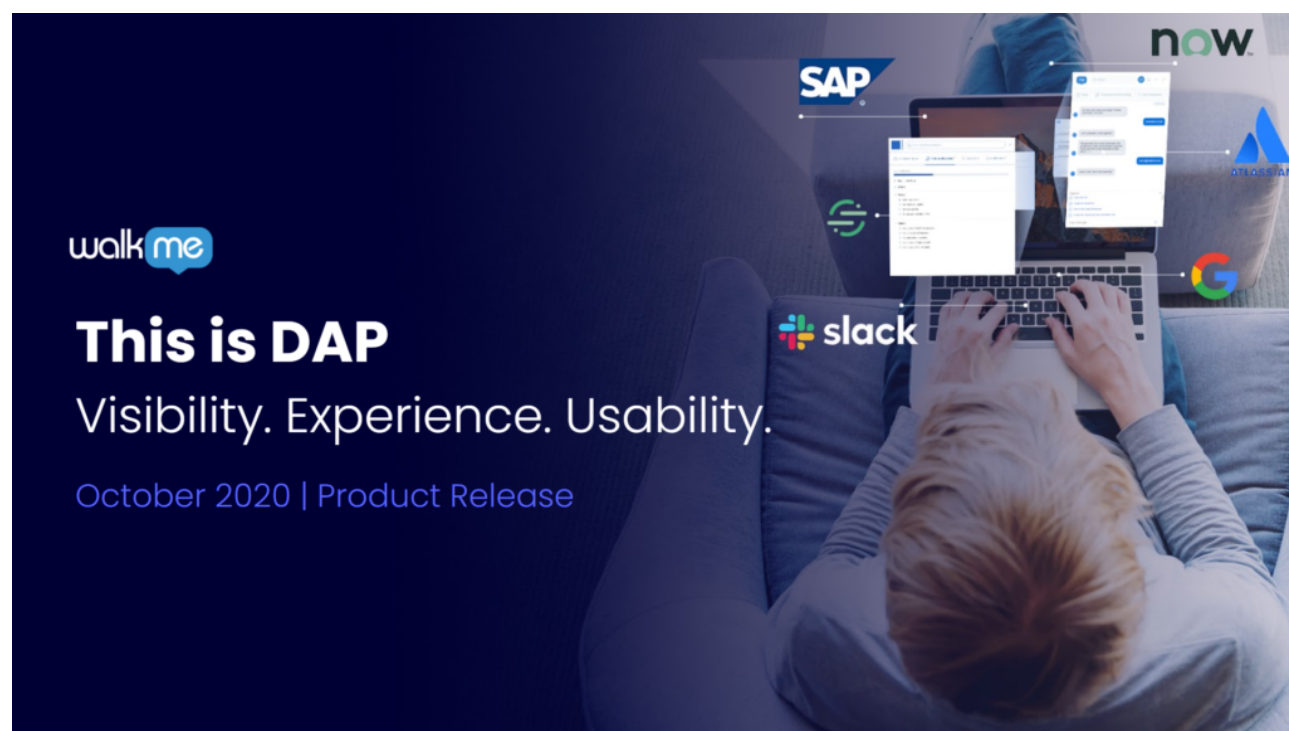


製品アップデート：2020年10月

新しいアップデートを受け取るにはどうすればよいですか？

WalkMeエディタとWalkMe Extensionの新しいアップデートが2020年10月12日にご利用可能になりました。

現在の実装は再度公開するまでアップデートの影響を受けません。ローカルサーバーでWalkMeを実行しているお客様は、アカウントマネージャーまたはWalkMeの問い合わせ先に連絡し、これらの新機能へのアクセス方法をご確認ください。



2020年10月の新機能について、詳しくは[製品リリースのウェビナー](#)（録画）をご覧ください。

紹介：管理ダッシュボード

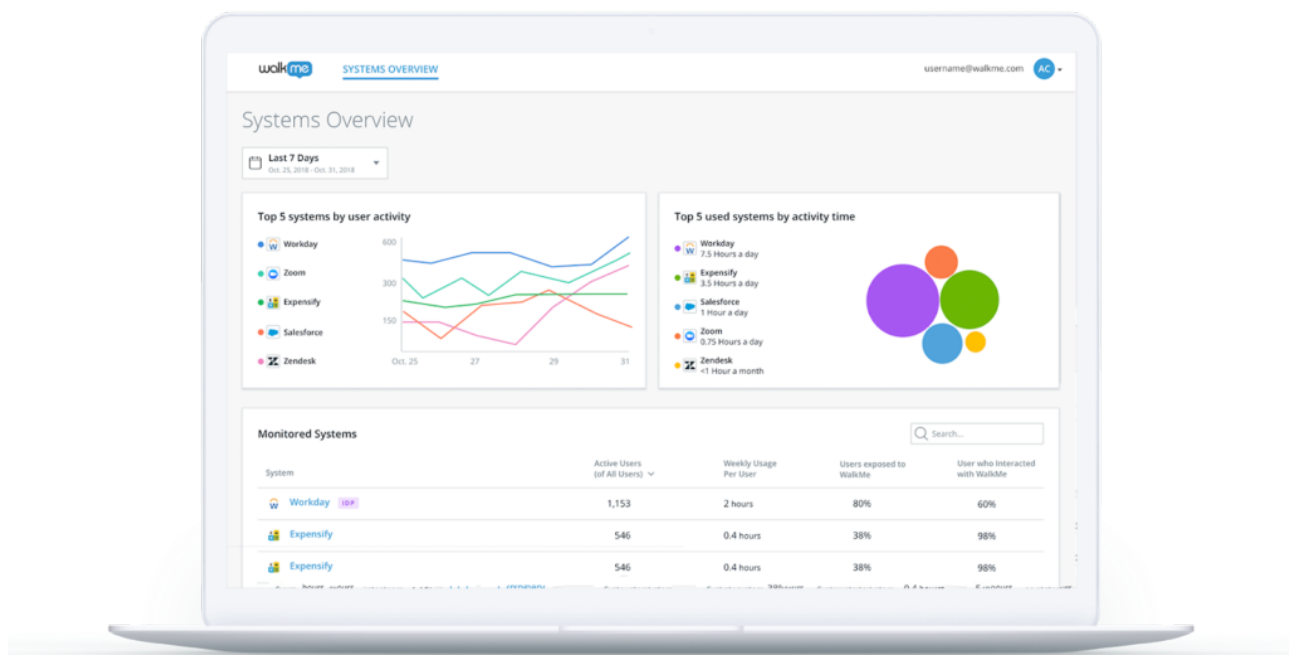
管理ダッシュボードは、WalkMeインサイトの最新レイヤーです。管理ダッシュボードは、マネージャーや経営陣が、技術ポートフォリオ全体のシステム使用状況やユーザーの生産性を把握し、ユーザージャーニーを最適化してソフトウェアの価値を最大化するよう設計されています。

Systems Overview (システム概要)

Systems Overview (旧称 Digital Adoption Center) は、お客様の技術ポートフォリオのすべてのシステムにわたる使用状況傾向とWalkMeの相関性を提供します。 Insightsに入ると最初に表示されるダッシュボードでは、ユーザー数、週間使用状況、WalkMe使用状況によって、すべてのシステムの概要をすぐに確認することができます。

Systems Overviewは、WalkMeを複数のシステムで使用しているすべてのお客様にご利用いただけます。ダッシュボードでは、以下のことができます。

- WalkMeとIT資産の両方の利用状況を把握する
- すべてのアプリを完全に可視化し、WalkMeメトリクスとの相関性を把握する
- 統合されたクロスアプリ表示を得る



ロールアウト：GA (少なくとも2つのシステムを持つMSAアカウントが必要)

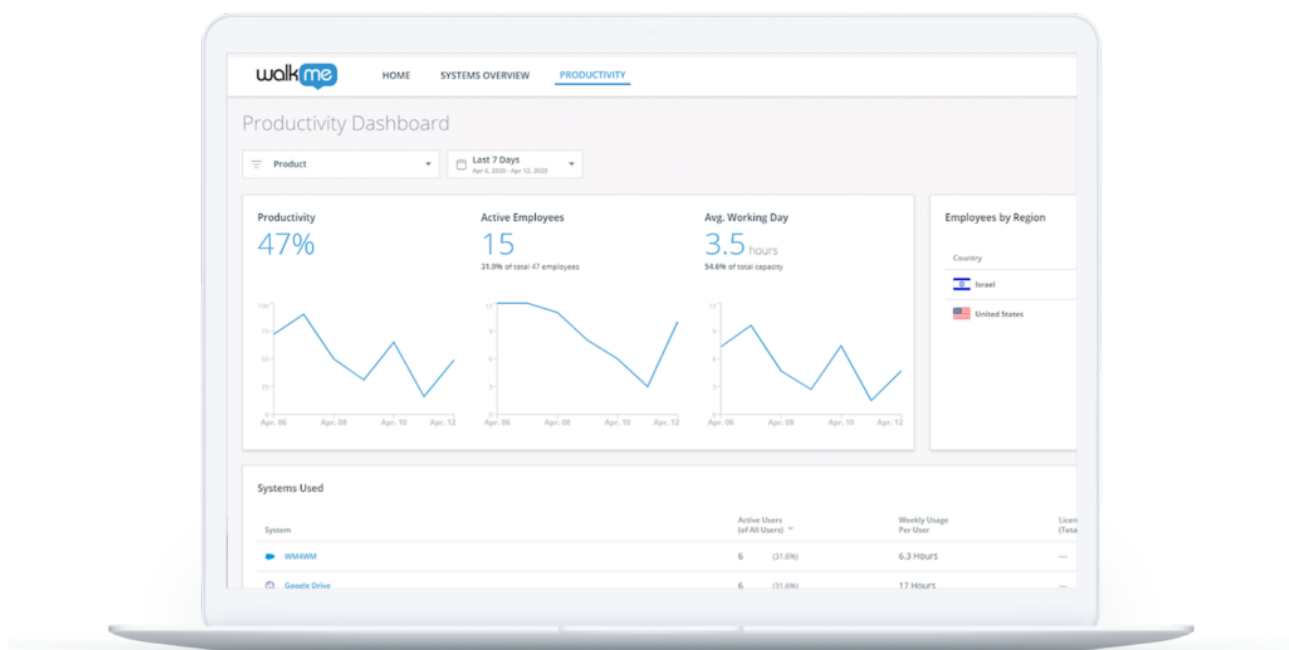
生産性ダッシュボード

生産性ダッシュボードは、ユーザーとビジネスの生産性を評価するために、アプリの使用状況に関する

詳細なデータを提供します。マネージャーと部門長は、生産性ダッシュボードを活用して、以下のことができます。

- リモートで点在するワークフォースのビジネス生産性を監視する
- 組織全体のソフトウェアの使用状況を把握する
- 未使用のソフトウェアライセンス、システムの重複、またはプラットフォームの不十分な活用を明らかにしIT関連の支出を管理する

詳細な部門ごとのデータを提供するにはIDP統合を使用する必要があります。IDP統合の詳細については、[ここをクリックしてください](#)。



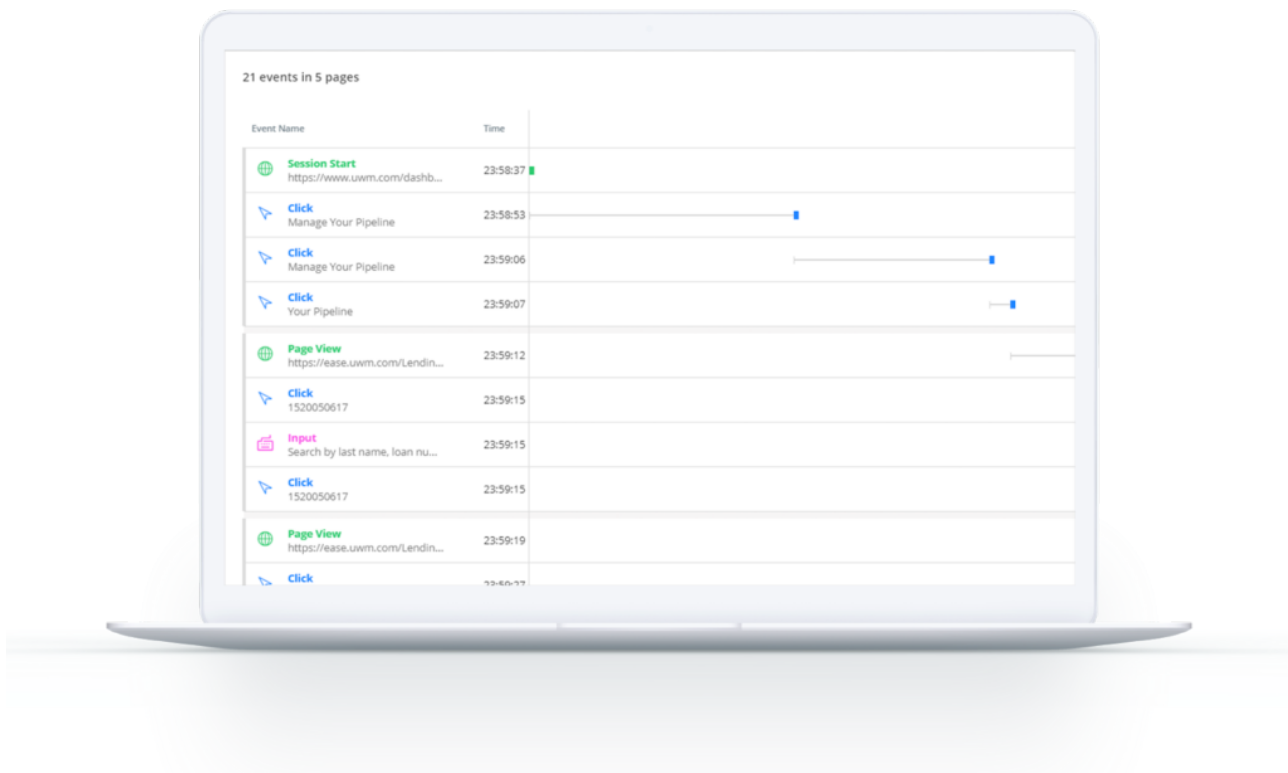
ロールアウト： 2つ以上のWalkMeアカウントとIDP統合を備えたマルチシステム管理者アカウントをお持ちのお客様にご利用いただけます。詳細については、アカウントマネージャーにご連絡ください。

[Session Stream](#)（セッションストリーム）

Session Streamでは、**すべてのWalkMeイベントとユーザーインタラクションを発生した正確な順序で可視化して、ユーザージャーニーをリアルタイムで把握することができます。**

Session Streamを活用して、以下のことができます。

- カスタマーサポートの効率化：サポートエージェントはユーザーのフリクションが起こるポイントをリアルタイムで確認できる
- コンプライアンスと監査プロセスで詳細を把握：ユーザー入力を可視化して監査プロセスを管理する
- ユーザーエクスペリエンスとプロセス完了率の最適化：ユーザーが最終目標に到達する前にどこで離脱したのかを把握する



ロールアウト： GA この機能は有料となります。 詳細については、アカウントマネージャーまでお問い合わせください。

Engaged Elements (エンゲージされたエレメント)

Engaged Elementsは、エンドユーザーの行動や基盤のプラットフォームとのインタラクションに関するデータやインサイトを提供します。

Engaged Elementsでは、以下のことができます。

- **ユーザーエンゲージメントの追跡に関連するプライバシーの問題を排除：** Engaged Elementsでは、プライバシーを心配せずに特定のエレメントを追跡でき、個人データを損なうことなく Insights が提供するすべてのメリットを享受することができます。

- **ポイントしてクリックするだけ**： Engaged Elementsは WalkMeエディタにキャプチャーされるため、使いやすさが向上し、エレメントを選択する際の技術的な労力が不要になります。
- **堅牢なテクノロジーを体験**： WalkMeのスマート要素認識テクノロジーは、より正確な要素定義のためにここに適用され、常に正しいデータを確実に取得できるようにします。

ロールアウト： Engaged Elementsは現在、 Microsoft Dynamics [Salesforce ClassicおよびLightning [SuccessFactors[Workday® そしてAriba でサポートされています。 制限が適用されます – 詳細についてはアカウントマネージャーにお問い合わせください。

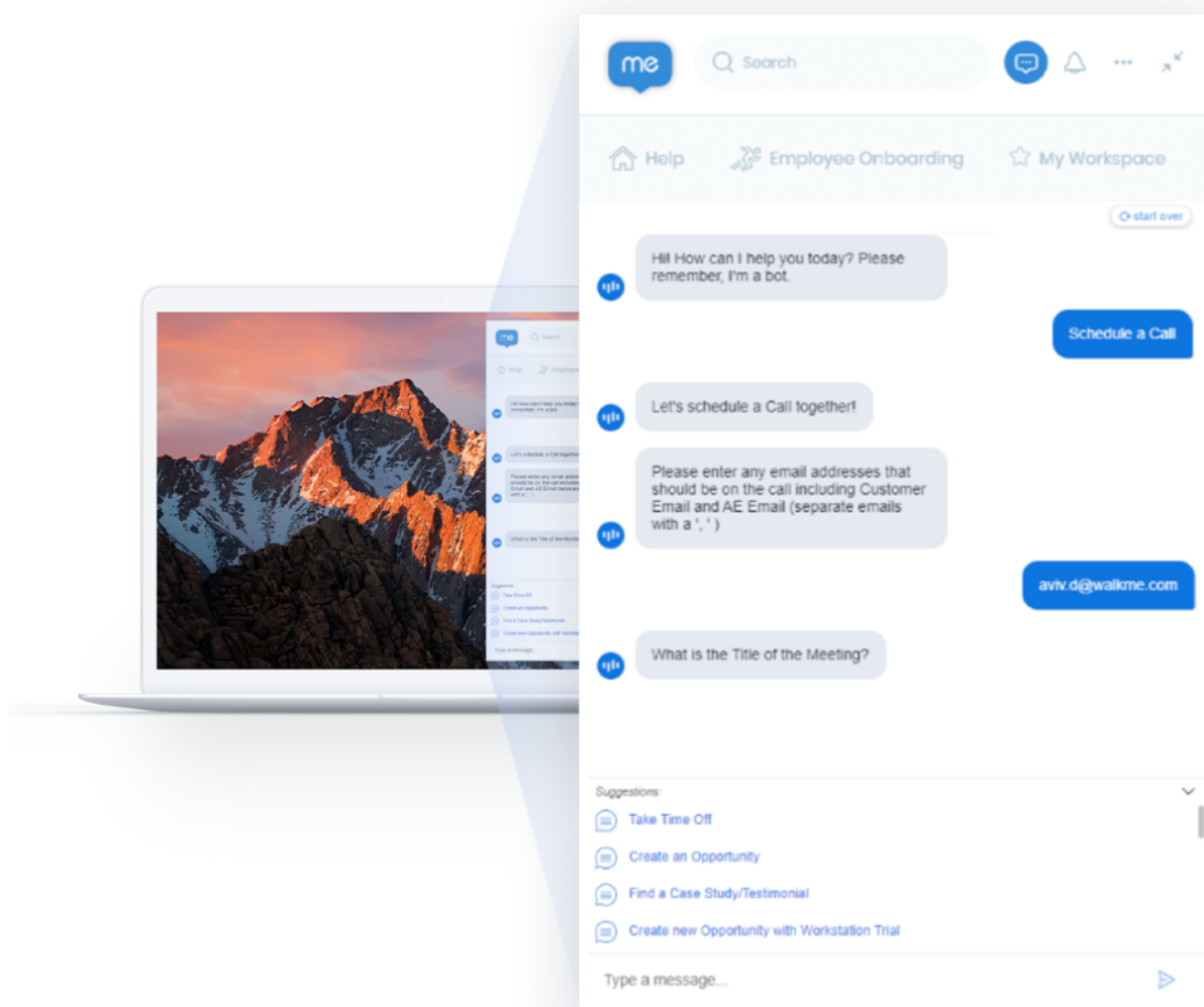
Workstation向けActionBot

Workstation向けActionBotは、従業員のデスクトップにActionBotエクスペリエンスをもたらします[Through 自然言語会話型の**インターフェース**と**自動化**により、従業員はコンテキストを変更することなくビジネスプロセスを開始 終了することができます。

つまり、従業員は基盤となるプラットフォームを開くことなく、1つのインターフェイスでプロセスを完了できます。コンテキストを変更せずにプロセスを開始 終了することで、従業員は **生産性** [**効率性** が向上し、 **よい結果** をだすことができます。

Workstation向けActionBotでは、従業員は、デスクトップ上のWalkMeを直接使用して、部署を問わず、あらゆるアプリケーションからビジネスプロセスを完了することができます。ここでは、その一例をご紹介します。

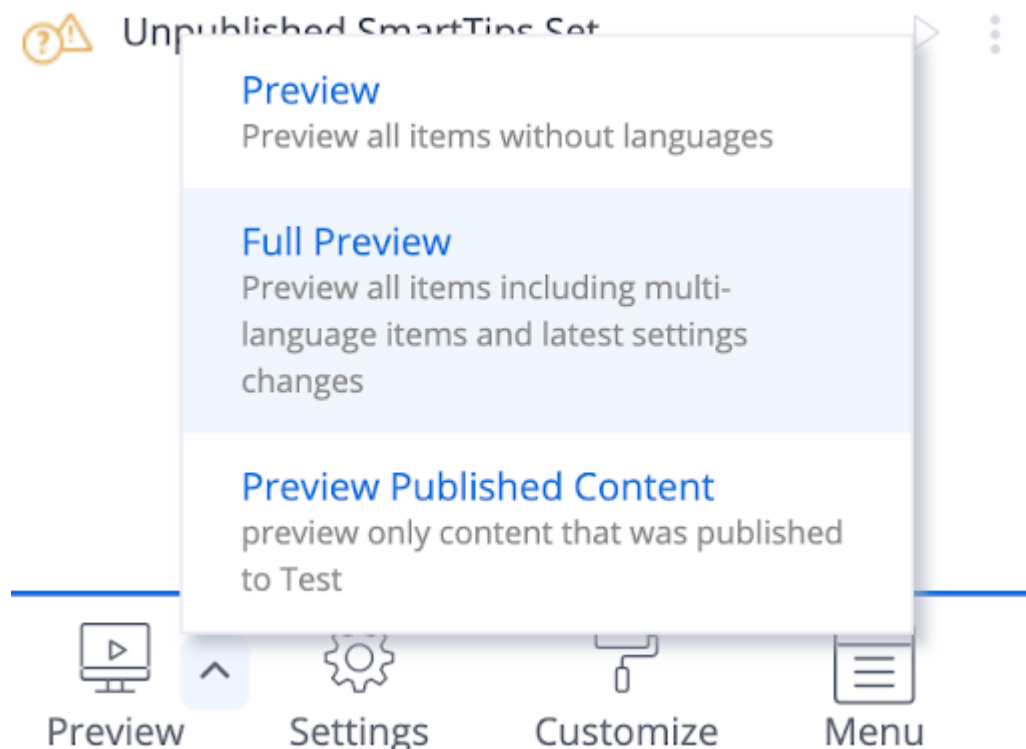
- Salesforceからデータを取得する
- 自動フローを使用してフォームに記入する
- チケットを開く



ロールアウト：Workstationのお客様向けのオープンベータ版（Workstationは有料製品です）
WorkstationおよびWorkstation向けActionBotベータ版の詳細については、アカウントマネージャーにお問い合わせください。

クイックプレビュー

新しいクイックプレビューは、現在のデフォルトのプレビューに代わるもので、コンテンツの作成と管理をより簡単かつ迅速に行うことができます。



ロールアウト：機能フラグ。 詳細については、アカウントマネージャーまでお問い合わせください。

[WalkMe Share](#)

WalkMe Shareは、チームでの構築プロセス中のコンテンツのコラボレーション、レビュー、追跡を改善するために開発されました。

昨年からの最も人気のある機能の1つで、今四半期は以下のようないくつかのエキサイティングな改良が加えられました。

- ShareプレゼンテーションをWordドキュメント[.DOCX]としてエクスポートする
- [Share]スクリーンショットを編集する
- Editorのフローマップを.pngファイルにエクスポートする
- WalkMeエディタとShareの結合[Share内で編集したスクリーンショットがEditorのスクリーンショットポップアップモードに反映されるようになりました。]

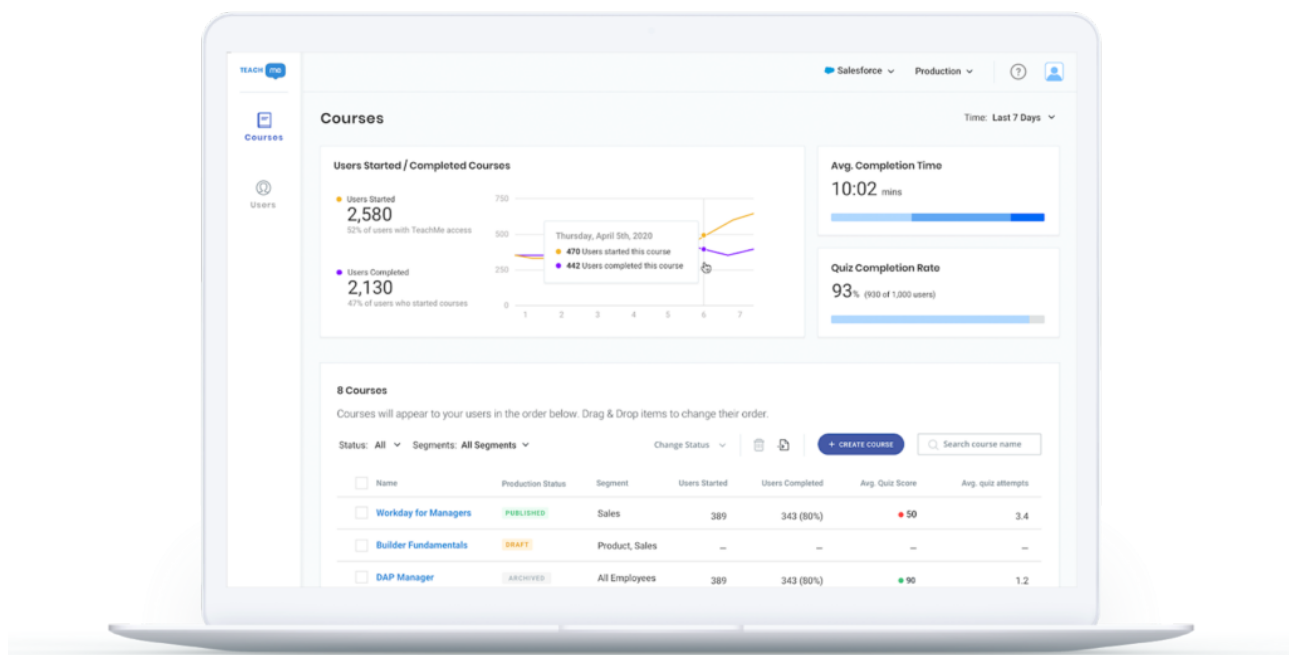
ロールアウト：GA

TeachMe

TeachMeは、従来のリソース、インタラクティブガイダンス、知識評価を組み合わせることにより、作業の流れの中で効果的なトレーニングを可能にします。 TeachMeを使用すると、構造化されたコースやライブタスクを アプリケーションの上に作成することができます。

- 単一の製品内で複雑な学習をリアルタイムで行う
- 既存のWalkmeコンテンツを活用して、ゲーテッドコンテンツを使用した整理されたラーニングパスを設計する
- コースエンゲージメント、完了率を追跡し、知識のギャップを特定する

新製品ではありませんが TeachMeはエンドユーザーのためにルックアンドフィールを一新し、コンテンツの構築と管理のためのUIを改善しました。 さらに、まったく新しい分析ダッシュボードは、コースエンゲージメント、完了率をより適切に追跡し、知識のギャップを特定するのに役立ちます。



ロールアウト GA TeachMeは追加料金でご利用いただけます。詳細については、アカウントマネージャーにお問い合わせください。